



一中だより

令和7年9月12日 発行 第5号

新潟市立新津第一中学校

電話 0250 (22) 3622 FAX 0250 (22) 6407

HP <http://www.niitsuljh.city-niigata.ed.jp/>

実りの秋へ！ ～2学期スタート～

8月25日（月）から2学期が始まりました。9月に入っても、まだ残暑は厳しいですが、一雨ごとに秋の足音が近づいています。先日、第2回定期テストと一中米の稲刈りが終わりました。2学期は、この他にもたくさんの行事が予定されています。

9月	体育祭	新潟市新人大会
10月	一中米脱穀作業（1年生）	合唱コンクール
11月	第3回定期テスト	収穫祭 進路説明会（3年生）
12月	生徒会役員選挙	保護者懇談会 終業式



体育祭や合唱コンクールでは、互いに協力しながら一つの目標に向かって取り組み、学年・学級の団結力や感性を精一杯表現してほしいです。また、2学期後半は定期テストに加えて、進路実現に向けた進路説明会（3年生）や来年度の生徒会活動の中核を担う役員選挙があります。

どの行事も、生徒たちの力や成長を一中米のように大きく結実させるよい機会となります。ぜひ、これまで培ってきたものが充分に発揮され、実りの多い2学期になることを期待しています。



新津一中教育ビジョンの達成度（中間評価）

今年度の重点的な取組である「主体的に学習に取り組む生徒の育成を目指した授業改革の推進」「支援的人間関係づくりの推進」「探究学習の充実および地域との連携」について、その達成度を評価する学校評価の集計結果がまとまりましたので、報告いたします。

<1 主体的に学習に取り組む生徒の育成を目指した授業改革の推進>

評価指標

- ①対話を重視した実践を行い、授業改善に取り組んだ教職員が90%以上 → 達成度：77%
- ②単元ごとの振り返りを実施した教職員が90%以上 → 達成度：85%
- ③平日60分以上、休日90分以上家庭学習をする生徒が80%以上
→ 達成度：平日60分以上が50%、休日90分以上が31%

●「深い学び」を実現する単元デザインに関して

アンケートでは、80%の生徒が「学ぶことが楽しい」と回答しています。また、「課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答した生徒は87%、「ICTを自ら活用して調べたり考えをまとめたりしている」生徒は93%でした。多くの生徒がICTを活用する能力を備え、主体的に授業に取り組む意識をもっていることがわかります。「授業では学習課題が示され、学習のまとめが行われている」と回答した生徒は95%でした。今後も、生徒が自分の能力や学ぶ意欲を最大限に発揮できる授業改善を目指します。

●対話を重視した授業の実践に関して

教職員は対話を重視した授業改善について、試行錯誤をしながら実践していますが、全体とし

ては目標値に届きませんでした。アンケートでは、「授業でペアやグループで話し合う活動が好き」と回答した生徒は 85%、「授業で発表したり話し合ったりしたことをもとに、考えを深めようとしている」と回答した生徒は 88%でした。大半の生徒が他者との対話を通じた学習を好み、価値あるものと考えていることがわかります。

ただし、「授業で自分の考えを伝えている」と回答した生徒は 78%で、他項目に比べ約 10%低い数値でした。このことから、「対話は好きだが、考えを他者に伝えられない生徒」が一定数いると考えられます。今後は、対話スキルを身に付けるための指導や活動を実施するとともに、授業研修（職員研修）等を通して活動の質を高め、生徒が対話を通じて学習の深まりをより実感できる授業を目指します。

●振り返りの継続に関して

「振り返りを継続的に実施した」教職員は 85%、「学んだことや学び方について振り返る活動を行っている」と回答した生徒は 92%でした。振り返り活動が多く生徒に意識化されている結果となりました。今後は、評価への活かし方やフィードバックの方法を各教科で研究し、生徒が自身の考えや興味のある題材を自由に表現できるよう、継続的に実施可能な方法を検討していきます。

●家庭学習の充実に関して

「平日に 60 分以上家庭学習をしている」と回答した生徒は 50%でした。学年別では 1 年生 50%、2 年生 44%、3 年生 56%です。また「休日に 90 分以上家庭学習をしている」と回答した生徒は 31%（1 年生 26%、2 年生 24%、3 年生 44%）でした。昨年度は平日 60 分以上が 51%、休日 90 分以上が 32%であり、家庭学習の習慣化は継続的な課題となっています。

一方で、定期テスト 1 週間前の家庭学習時間は平均 2 時間以上（1 年生 160 分、2 年生 188 分、3 年生 216 分）となっており、普段とのギャップが大きいことがわかります。この結果から、多くの生徒が「定期テストのために家庭学習をしている」と考えられます。

今後は、知識を「テストのためだけ」で終わらせないため、授業の振り返りを基に生徒自身が家庭学習の内容を決め、生活ノートに記録する時間を終学活で確保するほか、家庭との連携を一層強化していきます。

<2 支援的人間関係づくりの推進>

評価指標

- ①「学校生活が楽しい」と回答した生徒が 90%以上 → 達成度：90%
- ②「自分にはよいところがある」と回答した生徒が 75%以上 → 達成度：81%

●自律性と社会性を育む生徒指導に関して

「生徒同士の良好な人間関係づくりを計画的に実施した」教職員は 97%で、担任をはじめ学年部職員が中心となり、生徒の心理的安全性と居場所の確保に努めています。アンケートで「学校生活が楽しい」と回答した生徒は 90%、「クラスの居心地はよい」と回答した生徒は 89%でした。また、「自分にはよいところがある」と回答し、自己を肯定的にとらえている生徒の割合も、81%となっています（昨年度は 75%）。

時間・服装・言葉づかいについても 95%以上の生徒が高い意識をもち、生徒会活動や学校行事にも積極的に参加しています。今後も、学年・学級活動や学校行事（体育祭・合唱コンクール等）を通して自己存在感を高め、互いに認め合い、助け合い、高め合える学校風土づくりを目指して取り組んでまいります。

●いじめ・不登校への対応に関して

「いじめはどんな理由があってもいけない」と回答した生徒は 97%、「自分や周囲の人の個性や違いを認め、大切にしている」と回答した生徒は 99%、「思いやりをもって人と接している」と回答した生徒は 97%でした。ほとんどの生徒が他者を認め、いじめを許さない意識をもっていることがわかります。

教職員も、97%が「いじめの早期発見に努め、確実に対応した」と回答し、「不登校傾向の生徒

への適切な支援体制を整えた」と回答した教職員は 90%でした。当校では毎月の悩みごとアンケート、生徒の状況に応じた教育相談、問題発生時の迅速な対応に取り組んでおります。今後も高い意識をもって取組を継続し、学年をこえた教職員の連携など、より組織的な体制づくりを進めてまいります。

●体力・健康づくり、食育の推進に関して

「毎日朝食を食べている」と回答した生徒は 89%、「運動が好きで、体を動かして遊んだりスポーツをしたりしている」と回答した生徒は 79%でした。保健体育の授業にも、92%の生徒が意欲的に取り組んでいます。当校では、学年ごとに健康・食育に関する講演会を計画的に実施しており、今後もこれらを通して生徒の意識向上に努めてまいります。

<3 探究学習の充実および地域との連携>

評価指標

- ①「地域のことにふれたり調べたりする学習が好き」と回答した生徒が 80%以上 → 達成度：74%
- ②「地域や学校で先生以外の大人からほめられたり認められたりしてうれしいと感じることがある」と回答した生徒が 80%以上 → 達成度：87%
- ③「地域人材等と連携して活動を展開できた」と回答した教職員が 80%以上 → 達成度：95%

●ESD 探究学習の充実に関して

アンケートでは、90%の生徒が地域に愛着を感じ、探究学習に主体的に取り組んでいると回答しています。ただ、「地域について具体的に調べたりするのが好き」や「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」といった項目になると、数値は 10 ポイントほど下がる傾向が見られました。

今後は、各学年の探究学習や稲作体験をキャリア形成や進路選択につなげる学びとして体系化し、総合的な学習の時間の年間指導計画について改善を図ります。また、目指す生徒の姿や学びのあり方を地域と共有し、地域人材から直接学ぶ場面を増やすなど、連携を強化してまいります。

●地域貢献活動の推進に関して

アンケートでは、90%の生徒が「自分の住んでいる地域が好き」と回答しました。実際に、生徒は新津松坂流しや地域主催のイベントなどに参加し、充実感を得ている様子がうかがえます。今後は、将来の地域を担う立場として、より主体的に行動する視点を活動に取り入れていきます。

●地域と一体となった活動の展開に関して

アンケートでは、87%の生徒が「先生以外の大人にほめられたり認められたりしてうれしいと感じる」と回答しました。地域の方の声かけやアドバイスは、生徒の成長を後押しする重要な要素です。今後も、地域と学校が目標を共有する機会をもち、稲作活動・探究学習・合同防災教室などを通して生徒の豊かな体験を支援し、地域の発展に貢献してまいります。

今回は、特に「対話を重視した授業改善」や「家庭学習の習慣化」に課題が残りました。一方で、「自己存在感の実感」や「地域と連携した活動」については比較的高い数値となりました。今後も支援的な人間関係づくりを基盤とし、教育ビジョンの達成を目指して教育活動を展開してまいります。



8～9月の活動紹介

夏休み中から本日までに実施された活動を写真でまとめました。たくさんの生徒が地域の一員として活動しています。また、稲刈りには地域やPTAから多くの方々にお越しいただき、作業にご協力いただきました。ありがとうございました。

Akiha 教育懇談会

生徒会本部の生徒が一中校区の未来について発表したり、地域の方と話し合いをしたりしました。



新津松坂流し

部活動単位で、多くの生徒が参加してくれました！



稲刈り

二人一組で刈り取った稲を束ねて、「はさ木」にかけていきました。

